



りゅうおう

議会だより

No.150
2010.2.1

RYUOH

編集発行●滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713



新春カルタ大会

●
主
な
記
事
●

第4回(12月)定例会

- 一般・特別会計補正予算・条例改正2～3
- 臨時議会関係4
- 一般質問5～9
- こんな質問もしました10
- 各委員会報告11～14
- 議会傍聴記・編集後記14

平成21年第4回定例会は12月9日から12月22日までの日程で開催されました。

条例改正
一般・特別会計補正など

12月定例会

新規条例

教育民生常任委員会 付託案件

竜王町武道交流会館の設置および管理に関する条例

青少年の健全育成ならびにスポーツ振興および町民の体力向上・健康増進を図るため建設する武道交流会館は竜王中学校第2体育館跡地に建設中で、日本の伝統的スポーツ、武道の振興を図るため、新たに設置するもの

賛成多数で可決

条例改正

竜王町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

湖北六町が配置分合により本年をもって廃止さ

ることに伴い、東浅井郡および伊香郡の名称が無くなることからこの名称を削除するものです。

全員賛成で可決

竜王町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

湖北六町が配置分合により本年をもって廃止されることに伴い、東浅井郡および伊香郡の名称が無くなることからこの名称を削除するものです。

全員賛成で可決

竜王町立環境衛生施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例

第2条の表中、獅々垣墓地の地番が土地改良による従前の換地処分前のもので、本条の地番に改めるとともに条例中の文言整理をおこなうものです。

全員賛成で可決

竜王町消防団等公務補償条例の一部を改正する条例

緊急搬送時において、搬送先医療機関が速やかに決まらないケースが相

次いでいることが問題視されていることを踏まえて、消防機関と医療機関との連携を推進するための仕組みを確立し、緊急搬送及び受け入れの円滑な実施を図るため、消防法が一部改正され傷病者の搬送及び受入の実施基準を定めると共に、当該実施基準に関する協議等

全員賛成で可決

を行うための消防機関、医療機関等を構成員とする協議会を設置することを都道府県に義務付けると言う条項が追加されたことにより、本条例に引用規定の条ズレが生じることから改正をするものです。

補正予算

一般会計の補正

総務産業建設常任委員会 付託案件

◎平成21年度竜王町一般会計補正予算(第7号)

補正予算(第6号)に2億4420万円を追加

金・補償額の増額、人件費の減額などです。

平成21年度一般会計補正予算(第7号)の主なもの

(単位 千円)

歳入	
○減債基金繰入金	160,000
○前年度繰入金	60,260
○障害者自立支援給付費負担金(国庫支出金)	12,162
○障害者自立支援給付費負担金(県支出金)	5,875
○公共施設省エネ・グリーン化推進事業補助金	3,000
○防災情報通信設備整備事業交付金	1,810
○河川愛護活動事業委託金	1,028
歳出	
○償還元金	218,459
○繰上償還補償金	25,527
○自立支援給付事業	23,500
○老人福祉・一般管理費	7,677
○公共交通対策費	3,724
○総合庁舎維持修繕事業	3,611
○防災情報通信設備整備事業	1,810
○河川総務費・一般管理費	1,184
○人件費	△28,048

した予算の総額を53億7860万円に改めるものです。

今回の補正は、電算基

委員からの意見

生活交通路線維持費・
コミュニティバス運行委
託費の補助金が今後も膨

特別会計の補正

平成21年度電王町国民健康
保険事業特別会計事業
勘定補正予算(第3号)

主な内容は、一般被保
険者、退職被保険者とも
医療費の増加に伴い療養
給付費、療育費が2,1
77万円、高額療養費が
100万円のそれぞれの
増加、医療費と介護費が
高額となった世帯へ給付
する高額介護合算療養費
は、平成20年度より開始
となり今年度から始めて
給付となりますが、給付
要件がようやく確定しま
したので、給付要件に照
らしますと一般被保険者
分として400万円、退
職被保険者分として50万
円、介護納付金の概算納
付額が確定しましたこと
から636万円のそれぞ
れの減額、高額医療費及

れると、町の財政に大き
く影響するので、乗客の
確保等の対策について検
討されたい。

全員賛成で可決

び保険財政共同安定化に
係る共同事業費の拠出金
についても概算納付額が
確定しましたことから1,
800万円の増額、特定
健康診査の集団検診での
実施人数が確定したこと
による200万円の減額
です。

全員賛成で可決

平成21年度電王町国民健康
保険事業特別会計施設勘
定補正予算(第2号)

主な内容は、医科につい
ては職員の人事異動およ
び共済負担金の変更によ
り給料等人件費が57万5
千円、臨時職員の賃金に
不足が生じることから賃
金84万1千円のそれぞれ
の増額、B型肝炎抗体検
査委託料が不要となり3
万3千円の減額、医薬品
衛生材料費の不足により、

医薬材料費及び臨床検査
手数料が335万円のそ
れぞれ増額です。歯科に
ついては給料等人件費が
24万1千円の増額、B型
肝炎抗体検査委託料14万
9千円を委託料から手数
料に組替えるものです。

全員賛成で可決

平成21年度電王町下水道
事業特別会計補正予算
(第2号)

主な内容は、前年度の
消費税納税額の確定によ
り、中間申告・納税が必
要となったため287万1
千円、琵琶湖流域下水道
維持管理負担金475万
2千円、県施工流域下水
道事業負担金662万8
千円のそれぞれ増額です。

全員賛成で可決

平成21年度電王町介護保
険特別会計補正予算(第
2号)

主な内容は、居宅介護

サービス給付費が660
万円、居宅介護サービス
計画給付費が360万円、
介護予防サービス給付費
が150万円、介護予防
サービス計画給付費が37
万円のそれぞれ増額です。

全員賛成で可決

平成21年度電王町水道事業
会計補正予算(第2号)

歳出予算内の組替えて
修繕費193万3千円の
減額、人事異動に伴う人
件費を193万3千円の
増額です。

全員賛成で可決



インフルエンザの予防接種

米国との二国間で原則
関税の撤廃を目指すFTA
(自由貿易協定)の交
渉が促進されようとし
ている中、農業者はも
とより国民にも、今後
の交渉の進展によって
大きな影響を受けるこ
とから不安と動揺が広
がっている。

特に、米、麦、豚
肉、牛肉等の品目の関
税が撤廃されれば、食
料自給率の向上どころ
か、我が国の農業・農
村、ひいては地域社会
にも壊滅的な打撃を受
けることは必至である。

また、これらの関税
撤廃はWTO農業交渉
における8年にも及ぶ
粘り強い努力を無にし
るものであり、日米FTAは他国からも同様
の取り扱いを求められ
ることから、農業経営
の安定を望む農家や食
料自給率の向上を望む
国民を裏切る行為であ
ると言わざるを得ない。

よって、政府ならび
に国会におかれては、以
上の現状を踏まえ、左記
の事項について適切な措

日米FTA(自由貿易協定)締結交渉に関する意見書

置を講じられるよう強く
要望する。

記

1. 我が国にとって、
米、麦、豚肉、牛肉
などの重要品目の関
税撤廃を行うことは、
食料自給率の向上ど
ころか、我が国の農
業を崩壊させること
につながるものであ
ることから、日米FTA
の締結に向けた
交渉は行わないこと。

以上、地方自治法第
99条の規定により意見
書を提出します。

平成21年12月22日

滋賀県蒲生郡

電王町議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
財務大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
宛

第5回臨時議会

去る、11月30日に第5回臨時議会が開催されました。

条例改正1件、補正予算3件および動産の取得3件が上程されました。

◎竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院の勧告により国家公務員に準じて、竜王町職員の月例給の引き下げ改定、持家の住宅に係る住居手当の廃止、および平成21年度の期末手当、勤勉手当の支給月数を0.35月分引き下げようとするものです。

条例施行日は、平成21年12月1日となっています。

賛成多数で可決

なお、この条例改正に伴い特別職（町長他）および議員の期末手当は、減額改定されました。

◎平成21年度一般会計補正予算（第6号）

現在認められている予算51億1280万円に、今回2160万円を追加し、歳入歳出予算の総額を51億3440万円とするものです。

●歳入で主な内容

国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金の執行額が確定した事業費の減額および新たに追加する事業費の増額、前年度繰越金407万5千円の増額および学校給食地場農畜産物利用拡大事業助成金270万8千円の増額となっています。

●歳出の主な内容

交通安全施設整備事業（区画線等の路面標示設置工事）

300万円の増額

新型インフルエンザ防止のワクチン優先接種者への助成

812万3千円の増額



路面表示設置工事

竜王小学校低学年棟トイレ改修費

812万3千円の増額

小・中学校教育用コンピュータ整備事業

106万1千9百円の減額

小・中学校理科教育等設備整備事業

481万7千円の増額

学校給食地場農畜産物利用拡大事業

265万8千円となっています。

全員賛成で可決

◎平成21年度国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算（補正第1号）

現在認められている予算8600万円に、今回332万1千円を追加し歳入歳出予算の総額を8932万1千円とするものです。

●歳入の主な内容

新型インフルエンザ防止ワクチン集団接種の診療報酬収入

332万1千円の増額

●歳出の主な内容

ワクチン集団接種費用（医師・看護師派遣報酬）

58万2千円の増額

ワクチン代、医療用消耗品等

273万9千円の増額

となっています。

全員賛成で可決

◎平成21年度学校給食事業特別会計補正予算（第1号）

現在認められている予算6200万円に、今回

274万8千円を追加し歳入歳出予算の総額を6474万8千円とするものです。

●歳入の主な内容

地域農産物の利用拡大にかかる一般会計からの繰入金

250万8千円の増額

その他（給食費負担他）

18万7千円の増額

●歳出の主な内容

給食資材費

274万円の増額

その他給食費負担金の還付金

8千円の増額となっています。

全員賛成で可決

◎動産の取得について

○教育施設地上デジタルテレビ（竜王小・竜幼・公民館）その1

取得予定価格

735万円

契約の相手方

竜王電化

○教育施設地上デジタルテレビ（竜王西小・竜王西幼）その2

取得予定価格

626万85百円

契約の相手方

竜王電化

○学校教育用コンピュータ等（ノートパソコン、プロジェクター、教材提示装置、関連ソフト）

取得予定価格

1974万円

契約の相手方

日本ソフト開発(株)

以上3件とも

全員賛成で可決



導入されたデジタルテレビ

12月定例会

一般質問

一般質問は12月18日に行われ、通告のあった9人の議員から17問の質疑と当局による回答がありました。
本ページから9ページまで、各議員の代表的な質問を一つ、登壇順に掲載しております。
また、10ページからその他の質問も掲載しました。
是非お読みいただき、ご意見やご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

- ①(株)雪国まいたけの工場建設の見通しと
対処方策について.....蔵口嘉寿男 議員
- ②鏡山展望台の管理と散策道の整備について..山添 勝之 議員
- ③新年度予算編成について.....小森 重剛 議員
- ④学級費などは父母負担ではなく、
公費でまかなうべきだ！.....若井 敏子 議員
- ⑤国道 477 号歩道の交通安全柵の
設置について.....大橋 弘 議員
- ⑥竜王町のライフラインの危機管理について 菱田 三男 議員
- ⑦壮年層からの介護予防について.....貴多 正幸 議員
- ⑧ペットの糞ポイ捨て禁止について.....岡山 富男 議員
- ⑨継続可能な介護予防について.....山田 義明 議員

問

去る、6月22日
に町長あての雪国

まいたけ社長からの回答

で、工場建設の用途がた
たず同社の責任で他社事
業に活用すると回答があ
ったが、農村工業導入促
進事業の延長期限や今後
の対処方策について伺う。

また、農工計画の変更
が新たな企業立地をもた
らす業種まで拡大が可能
かどうか伺う。

答

農工計画の期限
である平成22年3
月末までに、自社での工
場建設が間に合わなくな
り、現実的に少しでも工
場建設計画を動かすため
には他社の力を借りたい
ため了解してほしいとの
回答でした。

去る、12月10日に同社
から改めて責任をもって



(株)雪国まいたけの工場建設の 見通しと対処方策について

答 農工計画の期限を延長します。

蔵口 嘉寿男 議員

早期に自社で工場建設を
進めることを示されまし
た。

基本的には、現在の農
工計画の期限延長を図り
早い時期
に同社が
工場建設
をするよ
う求めて
いるとこ
ろです。

次に、
新たに来
てくれる
企業の業
種にまで
農工計画
の変更は
可能かと
いうこと
ですが、
農工計画
の趣旨に



雪国まいたけ工場用地



鏡山展望台の管理と 散策道の整備について

山添 勝之 議員

【答】現在伐採作業が行われています

問

雲冠寺展望台の周辺の木々が覆い茂っているのに、先の景色が何も見えない状態です。これでは展望台としての機能を果たしておりません。

また、散策ルートには遺跡も多々ありますが、コース整備が不完全です。来年夏にはアウトレットパークが開店し、多くの方々がハイキングを楽しむと予想されます。

鳴谷溪流、地蔵ヶ谷溪流等は実に素晴らしく、他市町のハイカーのみならず、町内の方も感嘆されるのではないかと思います。木々の伐採、散策道の整備が必要と考えますが対応を伺う。

答

鏡山散策道は昭和63年、平成元年

に交付された「ふるさと創生事業」による1億円を活用して行われ、平成6年には展望台、遊歩道、展望広場の整備を行いました。しかし年月の経過により周囲の木々も大

部の自治会により年2回、安全確保の目的で下草刈り、枯れ木の除去等行っていたいております。当該地域は国有林や保安林区域であるため、一定の制約があるものの散策道の維持管理に努めてまいります。



役をなさない展望台

木となっており、林野庁森林管理署により間伐作業が行われており、展望台からの眺望を確保するよう努めて戴いております。個々の散策道整備を新たに行うことは予定しておりませんが、一

問

公共事業の評価について町長は、

「国が実施している事業仕分けは、現状の状況を把握せず評価は難しい」とし、竜王町では「審議会などによる外部評価」の方針であるとの報道がされました。

私は、事業評価を行うためには、審議会など外部評価に頼る前に、まず内部評価で無駄を自らが洗い出し、さらに目線の違う立場からの外部評価による事業の見直しを行うべきだと考えます。町長は民間の目線から行政を見直すとして就任されました。厳しい財政状況のなか、これまでの事業の見直しは当然のことながら、町長として町住民に明るい竜王町の将来が

問

具体的に見える施策が示される時期であると考えます。

町長のお考えが具体的な施策として、新年度予算にどのように盛り込まれようとしているのか伺う。

答

小規模な年度予算で、町民の

声を直ちに聞き取ることができると本町では、直ちに外部委員に事業評価を委ねる前に、まず内部で分析・評価し、それに対する影響等を検討した上で、議会・自治会等の意見を伺い、十分議論して判定することが大切です。

現下の厳しい混沌とした財政状況の中、直ちに効率の悪い事



執行部財政会議

新年度予算編成について

小森 重剛 議員

【答】職員による「財政改革推進委員会」を立ち上げます

業を選別し、予算編成を進める必要があることから、町職員の中より委員を募集し「財政改革推進委員会」を立ち上げ、各事業について目的と成果を検証し、評価作業を進めています。



学級費などは父母負担ではなく、 公費でまかなうべきだ！

若井 敏子 議員

答 適正に徴収しています。

問

学級通信の用紙代を学級費として徴収しているが、町で負担できないか。修学旅行などに付添う先生の入場料など、個人負担でなく公費負担すべきだがどうか伺う。

答

学級通信の用紙代などの教育活動経費は、「それによって直接的な利益が生徒個人に還元されるものは個人負担するもの」と県などの教育長協議会で議論されています。

竜王町では学級通信の紙代、他、マジック、セロテープ、草花の種や肥料、調理実習材料など学級独自の使用品目について購入されていて、学級費の徴収は適正と考えています。

今年から先生の引率に関わる個人負担分につきましては、昨年4月から「滋賀県旅費支給条例」が変更され、県では支給されないこととなり、竜王町として検討の結果、今年度から公費で負担することとしました。

チャレンジウィークの取り組みはアンケート調査の結果、受け入れ事業者も好意的で参加した中学



牧場での勤労体験

問

西川ため池は力ワウ等による鳥獣被害が拡大し、農林水産被害や国道477号の歩道は通学道路であり児童達は悪臭がひどいためマスクを掛け堪え忍んで通学していました。

答

西川池のカワウ等の対策については幾度となく要望を伺ってききましたが、西川自治区のご協力により伐採をしていただき大変きれいな景観となりました。

こうした状況から、西川集落住民総出で竹や樹木を伐採したため景観も良くなり、児童達も安心して登下校出来るようになりました。

今日までは樹木が繁茂していたため気にならなかったが、ため池信号よりインター方向へ約57mの一番危険な所に交通安全全柵がありません。

現在、伐採した竹等で仮設の柵を施しています。が、危険なため早急な安全対策について伺う。



仮設柵の状況

国道477号歩道の 交通安全柵の設置について

大橋 弘 議員

答 県道路関係部等と調整を図り具体的な対応を行います

が生垣が枯れて無くなり危険な状況にあります。通学路でもあるため、施工された県農林関係者、県道路関係者と調整を図り具体的な対応を行います。



竜王町のライフラインの 危機管理について

菱田 三男 議員

【答】 可能な地域から順次布設替えに取り組みます

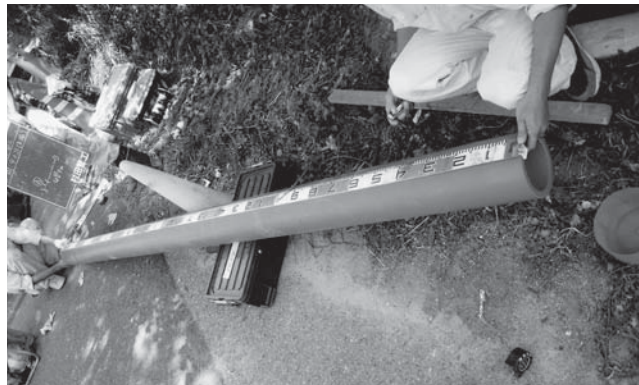
問 行政は、住民生活の将来にわたり、地震、災害などいかなる事象がおこっても、安全の確保とその復旧に備える責任があると考えますが、ここで本町におけるライフラインの危機管理について伺う。

答 本町の場合は、公共の建物に耐震補強を行っていますが、ライフラインの中で重要な役目を担う、水道施設について安全の確保がはかれるのか心配です。大部分を県水に依存している中で、水道施設が破壊された時に住民の飲料水の確保ができるのか伺う。

水道施設の耐久性、安全性でございしますが、町の保有している水道施設については、

どれも重要な役割を担うライフラインであり、今年度完了いたします工事関係では小口、薬師地先の送水管につきましては震度6の地震に対応できる、水道用耐震型高性能ポリエチレン管を使用しております。しかしながら、耐震性の視点では特に継手部分が弱い弱といわれます石綿管においては、一部地域において残存しております。

岡屋地域の一部については、今年度の布設替え工事で解消されるところでございしますが、その他地域におき



上水道ポリエチレン工法

ましては給水制限などが可能な地域から順次布設替えに取り組む所存でございします。今後の水需要の動向や経営、財政計画、資金確保等を見据えた中で取り組んでまいりたいと存じます。



壮年層からの 介護予防について

貴多 正幸 議員

【答】 健康で長生きできる町をめざします

問 一般に介護予防と言いますと、高齢者になってからと考えがちですが、生活習慣病を注意しなければならぬ壮年層から、しっかりとした健康管理や病気、介護に関して予防をする必要があると考えます。

答

竜王町では健康づくりの入り口となり

ます病気の早期発見・早期治療の取り組みとして、若年健診や各種がん検診、生活習慣病を見直す特定健診の実施、また健康の維持向上を目

的に特定保健指導、健康教室、栄養健康相談、訪問指導、ヘルスアップ教室等を実施しております。また、日常生活における運動習慣は、健康な人生を送る基礎になると考えますので、竜王町地域振

興事業団や町教育委員会生涯学習課と連携を図り、日常生活での運動の動機付けや習慣づけることに取組んでまいりたいと考えます。



健康のために運動を習慣づけよう！

要であると思っております。健康推進課を中心に元

気でいきいき暮せるまちづくりをめざし、健診・保健指導に一層力を入れ、健康で長生きできる町をめざしたいと考えます。



ペットの糞ポイ捨て禁止について

岡山 富男 議員

問 朝夕ペットを連れて散歩をされている方をよく見かけます。多くの方は、マナーを守り、ペットの糞の処理袋を持っておられますが、ごく一部の方は何も持たずに散歩されています。特に犬は同じ所で糞をすると聞きますが、処理をせずに他の家の前や通学路、農道等に放置すると景観や衛生面から悪影響を及ぼします。家族の一員のように考えておられる自分のペットの糞は自分で始末をするよう、行政でも広報などでされていると思いますが、まだまだこのような現状であること、また、今後の強化対策についてどのようなことを考えておられるのか伺う。

答 犬を飼ったり保管したりする場合

には、①所有の明示②健康および安全の保持③生活環境の保全 ④適正な飼養数、繁殖の制限⑤放し飼いの禁止 ⑥犬をつなぐ場所 ⑦犬のしつけ等多くの基本が定められています。今回の質問の中で、生活環境の保全にかかわること、そのルールには糞や尿、毛などで公共の場所や他人の土地、建物などをよごさないようにしなくてはならないと定めています。町民の皆さんには、広報、環境シリーズの中で「犬の飼い方のマナーを守りましょう」のテーマで、お願い

問 介護予防の各事業の短期的な取組と併せて各人の継続性のある長期的な取組はどのようにされるのか伺う。

答 竜王町では一般高齢者施策として、おたしや教室の中で運動機能向上や認知症予防、体力測定に取組んでいます。また、その事業

継続のため、おたしや教室サポーターや介護予防サポーターの養成に努めています。一方、特定高齢者施策としては、運動機能向上事業・口腔機能向上事業、また閉じこもり事業として各教室の開催を町内法人に委託して実施しています。特に運動機能向上につきましては、地域振興事業団と連携を図りながらドラゴンスポ

ーツジムの活用を進めるとともに高齢者健康づくり基盤整備モデル事業を活用し、アンクルリストウエイトを購入し、今年度内に体力づくりを充実させるための「いきいき百歳体操」指導員養成講座を開催し、次年度以降はおたしや教室等において、この体操を採り入れ、身近な地域で体力・健康づくりに取組めます。また、体力が低下し、おたしや教室の参加が困難や、何らかの支援が必要となられた場合におきましては、それぞれのステージで介護予防に取組んでいただけるよう、地域包括支援センターを中心に介護予防に取組んでまいります。また、介護予防の継続の為に、高齢者の介護予防事業への参加意欲の喚起が必要です。家族・地域で介護予防の意味・必要性を理解し、高齢者の方の各事業への参加を促し、支えあえる地域づくりに向け、啓発が大切であると考えております。

継続可能な介護予防について

山田 義明 議員

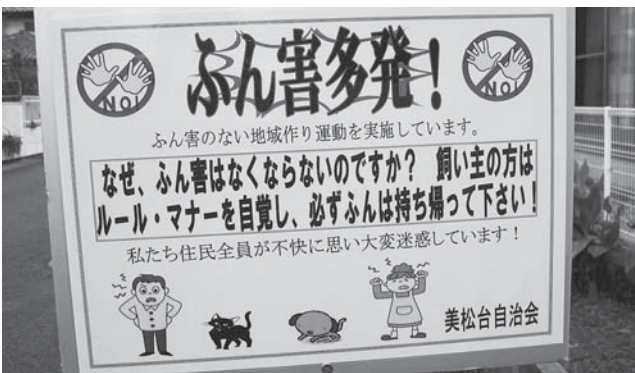


問 介護予防の各事業の短期的な取組と併せて各人の継続性のある長期的な取組はどのようにされるのか伺う。

答 竜王町では一般高齢者施策として、おたしや教室の中で運動機能向上や認知症予防、体力測定に取組んでいます。また、その事業

継続のため、おたしや教室サポーターや介護予防サポーターの養成に努めています。一方、特定高齢者施策としては、運動機能向上事業・口腔機能向上事業、また閉じこもり事業として各教室の開催を町内法人に委託して実施しています。特に運動機能向上につきましては、地域振興事業団と連携を図りながらドラゴンスポ

美松台の啓発看板



運動器機能向上事業（於 ドラゴン スポーツジム）

こんな質問も しました



夢カード抽選会

学力・学習の状況について

問

全国学力テスト
や町独自で実施し

た学力テストの結果も合
わせて分析をしていただ
き、児童の学力向上に向
けての具体的な対策をど
のように考えておられる
のか伺う。

答

岡山富男議員
国語科をはじめ
とした全教育活動

を通して実施するととも
にPTA学力向上委員会
とも連携する中で、「つ
まづき診断テスト」や全
国学力学習状況調査分析
結果から明らかにになった
課題の解決につとめてい
ます。

地元企業・商工業の育成を

問

町内で、地元企
業・商工業が充実

していくためには、行政
と企業・商工業が一体と
なって、発展していくに
はどのように考えている
のか。

答

岡山富男議員
地元商品販売に
付加価値をつけた

サービスの提供や農業者
と商工業者の連携による
地元農産品を活かした土
産土法、新たな竜王ブラ
ンドを創出できるよう支
援してまいります。

問

自治会(集落)と行政との
相関関係について

過去においてそ
の関係は状況等

にみられるように行政の
下請け機関としての存在
であった。近年はそれも
無くなり両者の接点が薄
れていっているようだ。

積極的自治会と消極的

自治会との行政サービス
の平等性はうまく対応出
来ているのか伺う。

山添勝之議員

答

行政サービス
は一律的ではな
く、特定多数や不特定

多数が受けるサービス
も有り、提供は目的や
必要性、受益者の状況
を判断し事業目的に相
応しいものとなるよう
努めています。

県事業の町負担金について

問

町負担金の減
額は県土木事業

の縮小に結びつき、直
接町の基盤整備事業に
大きな影響を与えると考
える。



架け替えが待たれる老朽化した橋

答

小森重剛議員
負担金を廃止し
た上で、現状の事

業進捗が最も望ましいが、
町民の利便性や安全を確
保するには、一定負担も
やむを得ない考えで、ま
ずは事業の進捗確保を要
望します。

負担金の廃止による整
備の遅れは、本町にとつ
てマイナスであり、避け



県道水口竜王線

自営業者に支援を

問

厳しい経
済状況の中、

なければなりません。

町内の自営業者は
大変厳しい状況に
置かれている。日
本共産党に寄せら
れた町民アンケー
トには、お金がな
いから医者にもか
れない。ひどい
病気になるたらど
うしよう、など切実な声
が寄せられている。

そこで小規模事業者登
録制度の実施、返済猶予
法案具体化後の保証料の
一部補助や利子補給、国
保税に不況減免制度の創
設を求める。

答

若井敏子議員
小規模事業者登
録制度は調査研究

します。保証料の一部補
助と国保の減免は検討し
ます。

2010 NPT 国際署名町あげて取組もう

問

草津市では市あげて、2010年

核不拡散条約再検討会議にむけて、国際署名に取り組んでいる。この署名に竜王町としても取り組んでいただきたいが御所見を伺う。

若井敏子議員

答

竜王町は平成15年から「日本非核

宣言自治体協議会」に加盟しており、今年の平和市長会議総会には職員一名を派遣し、町としても、核兵器のない平和な世界の実現に向けた取り組みを行っていくことを決意し、平和市長会議に加盟しました。

現段階では「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の賛同署名に取り組みたいと考えています。

通学道路の安全対策

問

通学路の整備を願う声は大きい。

通学路の安全対策を講じるために、歩道のない通学路は延長だけでなく調査いただき今後の対応策を伺う。また、白線が薄くなっている所も調査いただきたい。危険と隣り合わせの子ども達に、より早く安全確保を願う。

若井敏子議員

答

通学路の総延長と歩道設置区間は竜小管内で約27^キ／35^キ、西小では8^キ／15^キです。町道全体では約15^キ／



町道小口八重谷線歩道工事

119^キ、通学路としては7^キ／15^キです。国県の補助を求めながら通学路を優先して整備に努めます。白線が薄くなっているところは約4^キで補修を行ってまいります。

問

野田市で「公契約条例」が制定さ

れた。この条例は、市町

など公共団体が委託する事業や工事で働く人々の賃金・労働条件が一定の水準を下回ってはならない制度で「下請け・孫請け」などに丸投げすることを規制する条例。竜王町での条例制定について伺う。

若井敏子議員

答

竜王町では現在「公契約条例」の制定は考えていません。今後地域貢献度など価格以外の評価も導入し、よりよい制度の確立を検討します。

各委員会報告

総務産業建設常任委員会

委員長 岡山 富男

本委員会は、12月8日に所管事務調査を行いました。

けて、調査検討をしています。本委員会は、12月15日に、意見書の審議ならびに所管事務調査を行いました。

◎入札制度について

①入札の基本方針について

②契約までの制度について

③議会に付すべき契約および財産の取得または処分について

④格付けおよび選定基準について

⑤町内建設工業会について

⑥平成20・21年度の契約締結について

⑦暴力団等による不当介入の排除について

委員からの主な意見は

問 業者選定基準が長年

改定されていないが、経済状況を踏まえた改定等はされていないのか。

答 新年度の選定等に向

◎意見書の提出について

日米FTA（自由貿易協定）締結交渉に関する意見書（案）を審議し、全員賛成で意見書を提出することを可決しました。

◎所管事務調査

竜王町内の道路河川事業（県・町事業）について

町および県の道路河川工事、設計委託の実施状況の説明を受けました。

また、農林公園施設の直売所、公衆便所の増築について報告を受けました。

教育民生常任委員会

委員長 貴多 正幸

本委員会は、11月24日、12月16日、次の事項について所管事務調査を行いました。

◎ワンストップ・サービス・デイについて

利用者が1つの窓口で必要な各種支援サービス（雇用・住居・生活支援）の手続きができるようにする施策で、東近江市公共職業安定所において11月30日に行われました。竜王町としても職員1名を派遣されました。

◎介護予防施策の現状について

地域包括支援センターを中心に取り組んでいる介護予防施策について、また、認知症は誰でも起こりうる病気であり、なじみの環境を維持し、現役意識を大事にして予防することが大切であるとの説明を受けました。

◎新型インフルエンザワクチン集団接種の取り組みについて

竜王町国民健康保険診療所を受託機関とし、近江八幡蒲生郡医師会の協力を得て行うものです。

◎やまびこ第2グループホームについて

仮称第2グループホームやまびこ事業計画について当初、木造2階建ての予定でしたが、利用者の高齢化や、防災時の対応等を考え、やまびこ福祉会の理事会において木造1階建てに変更されたとの報告を受けました。

◎竜王町における発達支援の取り組みについて

発達支援室は、学校園や保健、福祉のバックアップという後方支援が業務であり、子・

委員からのおもな意見は

変更により、敷地面積が増加しているが、整備費が増額になった場合は、町補助金に加えて償還助成等の対応を考えて頂きたい。

土地は町有地の借地となっているが、借地料については、他の借地との整合性を十分に図り検討されたい。



いきいき竜王長寿プランの冊子ほか

当事者や保護者からの直接相談は原則受けず、発達支援システムの統括をしています。システムの運用については、継続した支援の計画と提供が重要で、保健、福祉、教育、就労の連携が必要であります。こうした取り組みの成果として、竜王町においては他市町と比較して、不登校児童生徒数が非常に少なくなっているとの説明を受けました。

地域創生まちづくり特別委員会

委員長 山添 勝之

本委員会は11月16日、12月17日の両日次の事項について調査を行いました。

(2)三井不動産による大店立地法説明会

10月25、26日竜王、湖南地区に於いて行われました。両会場とも地域に則した問題提起がありました。

(1)竜王町内の集合住宅建設の諸条件

若者定住を促進するには住宅の確保が不可欠ですが、直ぐに戸建住宅の購入は困難であると考えられます。我が町の集合住宅建設可能地域は小口地先と山之上地先です。地区計画を張った場合でも周辺の環境、地域特性等の見地から集合住宅建設は進めておりません。

(3)岡屋県有地環境アセスメントの報告

受注者が決定し、現地調査等が行われ調査内容説明、借地交渉等が地元役員さん達に対し行われました。



竜王インター改良工事

(4)「雪国まいたけ」工場用地の動向

「雪国まいたけ」はこの土地の利用計画を持っていた超優良企業を誘致すべく努力されましたが、諸々の条件に合致せず断念された。今後は町としてもなお一層の自社活用を促さ

なければならぬ。また農工法の3年間の再延長が必要だが、1年

毎のスタンスで対応しなければなりません。



着々と進むアウトレットモール建設

(5)三井アウトレットパークの地区貢献協定

具体的には店舗開店までに、地元産品の販売促進への協力、防犯防災対策、交通対策等の覚書の締結を行います。

(6)タウンセンター施設整備事業の動向

平成22年1月から出店説明会を含む商工会への事業概要説明会の開催など平成22年度後半の開店に向けて着々と進んでおります。

(7)地区計画について

タウンセンターにおいては都市環境形成を目的とし、松陽台（IBM跡地）では道路関係等について今後協議を進めていきます。



議会運営委員会

委員長 小森 重剛

10月23日、北海道足寄町議会の「議会改革・活性化等調査特別委員会」の視察研修を受け入れ、

今日まで取り組んできた議会運営、議会改革などについて意見交換・情報交換を行いました。

11月9日委員会を開催、平成21年第4回定例議会の会期を、14日間とする日程案を作成しました。

11月26日委員会を開催、平成21年第5回臨時議会に提出される提案事件について説明を受けました。今回提案される案件は、条例改正1件、補正予算3件、動産取得にかかわるもの3件の計7議案です。

12月3日委員会を開催、平成21年第4回定例議会に提出される提案事件について説明を受けました。今回提案される案件

は、条例の制定および一部改正の5件、補正予算6件、規約・定款の変更5件の計16議案です。

12月11日委員会を開催、平成21年第4回定例議会一般質問、9議員、17質問について、議会再開時間および質問の順序等

について審議しました。

12月22日委員会を開催、平成21年第4回定例議会に追加案件として提出される人事案件1件、「日米FTA（自由貿易協定）締結交渉に関する意見書」1件との計2件について協議しました。



北海道足寄町議会視察来町

議会広報特別委員会

委員長 若井 敏子

議会広報特別委員会は、12月11日、委員全員出席のもと委員会を開催し、今後の広報発行について協議しました。

前広報特別委員会委員長から、いままでの発行手順や方法について説明を受け、その後第150号の議会だより発行について作業の分担を行いました。



本会議場（傍聴席からの様子）

12月の定例議会を傍聴しました。初めに驚いたのは、町の幹部16人がひな壇に並んでいたことです。既に委員会などで審議しているのに、議員11人に幹部16人が出席しているというのは多すぎると思いました。

議員さんの質問の中で特に関心があったのは「雪国まいたけ」の工場建設の見通し、対処方策でした。

質問の答弁を聞いていますと「農工法」と言う法律の絡みもあつて着々と行かないようです。

この土地は地元地権者の皆さんの土地提供により実現したもので、経済的・社会的な問題で今日まで延長されていることは地元にとっても悔しい思いではないかと思います。一日も早く解決策を講じていただきたいものです。その他にも幅広い分野での質問が

ありましたが新年度は歳入不足で厳しい予算編成だと伺える答弁もありました。

今大事なことは竜王町の10年先を見据えたまちづくりビジョンを作ることです。

議会傍聴記

今後高齢化社会が進展する中で、若者からお年寄りまで「竜王に住んでいて良かった」と感じてもらえる、安全で安心な町を目指して、財政・教育・医療・社会インフラなどあらゆる分野にわたってきめ細かい政策を立案していただきたいと思います。期待しています。

駕輿丁 T・M



編集後記

昨年は、世界的な同時不況が深刻になり、デフレ経済での消費の減退、生産の抑制、給与の低下につながる悪循環となりました。

さらに新型インフルエンザの蔓延と暗い一年の印象がぬぐえませんでした。

今年の干支は、虎で千里の山野を駆けめぐると言われています。

私達の生活が虎の勢いにあやかり、明るい兆しのもとに今年は活気溢れる安定した生活が送れるよう祈らずにはいられません。

議会広報委員会のメンバーが今回号から変わりました。

町民皆様のご意見やご投稿を賜り、開かれた紙面となりますよう、皆様方の格別のご理解とご協力をお願いいたします。

蔵口 記

議会広報特別委員会

委員長 若井 敏子

副委員長 山田 義明

委員 蔵口嘉寿男

村田 通男

菱田 三男

寺島 健一